

科 目 名	作業療法学概論【作業】					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	青 山 宏						
開 講 年 次	1	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	必 修（作業）
授業の概要 及びねらい	作業療法の専門性とその果たす役割について学習する。世界や日本における保健医療の歴史の中で、作業療法がどのように生まれ、そして時代のニーズとともにどのように変化を遂げて来たのかを振り返り、作業療法が社会に果たして来た役割とその理論背景について理解する。また、保健、医療、福祉を取り巻く現状を把握し、今後の作業療法が歩むべき道筋について考えていく。						
授 業 の 到 達 目 標	①作業療法（士）に興味・関心を持つことができる。 ②作業療法（士）の理念が理解できる。 ③作業療法（士）の目的、役割を説明できる。 ④作業療法の起源と歴史が分かる。 ⑤作業療法の定義を述べることができる。 ⑥作業療法の対象を説明できる。 ⑦作業療法における作業、作業活動について説明できる。 ⑧作業療法実践の流れが理解できる。 ⑨作業療法の理論的に関心を持てる。 ⑩保健医療従事者としての作業療法士を目指す心構えと自覚が持てる。 ⑪作業療法の現状が理解でき、今後の在り方を考えることができる。						
学 習 方 法	講義、ビデオを視聴、グループ討議と発表						
テキスト及び 参考書等	テキスト：作業療法学全書第1巻「作業療法概論」協同医書（改訂3版） 参考書：標準作業療法学「作業療法学概論」医学書院、「新・作業療法の源流」三輪書店、「作業療法実践の仕組み」協同医書、「作業療法実践のための6つの理論」協同医書						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			70		
小テスト等	◎				20		
宿題・授業外レポート							
授業態度			○	○	10		
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	作業療法の世界、専門職種としての作業療法士						
第 2 週	作業療法とは、作業療法の起源と歴史						
第 3 週	人と作業						
第 4 週	作業と作業活動						
第 5 週	作業療法実践の流れ						
第 6 週	作業療法の実践（身体障害領域）（精神障害領域）						
第 7 週	作業療法の実践（発達障害領域）（老年期障害、地域領域）						
第 8 週	作業療法の理論、作業療法の管理、運営、倫理						
第 9 週							
第 10 週							
第 11 週							
第 12 週							
第 13 週							
第 14 週							
第 15 週							
第 16 週							
備 考	受け身にならず、自分の五感を通して考え、行動する癖をつけましょう。講義前には、教科書等に目を通すなど事前準備をしておいてください。講義後には、講義内容の振り返りなどの復習もするようにしてください。						